

社会福祉法人大東福祉会 平成25年度 事業報告

決算報告

★ 貸借対照表

資産の部		負債の部	
流動資産		流動負債	
現金・預金	384,919,886	未払金	37,772,658
未収金	183,294,913	その他の流動負債	179,816
その他の流動資産	803,764	固定負債	
固定資産		設備資金借入金	599,770,000
基本財産 建物	2,011,522,271	退職給与引当金	23,734,779
土地	225,762,104	その他の固定負債	
その他の固定資産	831,334,567	負債の部合計	
		661,457,253	
		純資産の部	
		純資産	
		基本金	36,770,181
		国庫補助金等特別積立金	1,221,356,358
		その他の積立金	663,500,000
		次期繰越活動収支差額	1,054,553,713
		(うち当期活動収支差額)	50,206,249
		純資産の部合計	
		2,976,180,252	
資産の部合計		負債及び純資産の部合計	
3,637,637,505		3,637,637,505	

★ 事業活動収支計算書

事業活動収支の部		事業活動外収支の部	
介護保険収入	1,051,021,669	事業活動外収入計④	34,621,519
自立支援費等収入	12,310,375	借入金利息支払	11,844,813
運営費収入	268,372,640	その他の事業活動外支出	22,171,314
国庫補助金等特別積立金取崩額	61,542,865	事業活動外支出計⑤	34,016,127
その他の事業活動収入	155,451,916	事業活動外収支差額⑥(④-⑤)	605,392
事業活動収入計①	1,548,699,465	経常収支差額⑦(③+⑥)	50,206,254
人件費支出	1,042,598,255	特別収支の部	
事務費及び事業費	338,595,199	特別収入計⑧	0
利用者負担軽減額	5,607,017	特別支出計⑨	5
減価償却費	109,179,332	特別収支差額⑩(⑧-⑨)	-5
その他の事業活動支出	3,118,800	当期活動収支差額⑪(⑦+⑩)	50,206,249
事業活動支出計②	1,499,098,603	繰越活動収支差額の部	
事業活動収支差額③(①-②)	49,600,862	前期繰越活動収支差額⑫	1,023,847,464
		当期末繰越活動収支差額⑬	1,074,053,713
		次期繰越活動収支差額⑭	1,054,553,713

大東福祉会の経営状況について

平成25年度の大東福祉会の経営について、介護保険制度の改正等なく、収入は前年度程度を見込んでいたが、利用率が伸び悩み減収となった。特に、在宅系サービスについての減収が顕著であった。また、支出面では、人件費が運営諸収入の7割を占めているため、職員処遇を圧迫しないことに配慮しつつ、効率的な運営を行うなど、安定した経営を行えるよう体制を整備していく必要がある。

平成25年度法人本部の重点目標の成果は、東日本大震災を教訓とした災害対策について積極的に取り組み、危機管理体制の充実を図った。次に、職務に見合った給与体系の基盤づくり及び時代のニーズにあった施設整備について検討を重ね、具現化に向けて前進した。また、小笠老人ホームの指定管理と新会計基準導入についても準備と体制づくりを行った。最後に長期的安定経営に向けた基盤づくりとして、業務の効率化、諸経費の見直しの検討と静岡県及び掛川市の助成金、社会福祉事業振興のための助成金等、支出の抑制の検討と収入の有効活用を行った。

事業毎の総括

保育園事業において、3園とも低年齢児の入所希望が増加傾向にある。国では、子ども・子育て支援新制度のスタートに向けて議論が進められ、大きな変動期を迎えているが、保育園では基本を見失うことなく、養護と教育とを一体的に行い、子どもの健やかな育ちを保障するため保育を進めてきた。多様なニーズへの対応や、育児不安を抱える保護者の支援等に加え、地域の子育て拠点として未就園児家庭への園庭開放や、子育て支援センター事業、一時預かり事業も実施した。

老人福祉事業では、平成24年度介護保険法の改正に応じた業務体制を確立し、収入の確保に努めた。限られた人員のなかで効率的な運営を図るとともに利用者への良好なサービスの提供を行った。他の施設との差別化やサービス提供時間の変更への柔軟な対応など、職員の意識改革、業務手法に変化が見られていると思われる。利用者の状況は、入所系サービスにおいては利用率95%以上であったが、在宅系サービスについては、80%を下回る事業があった。これらは利用者の減少が原因と思われるので、今後減少原因を検証し、利用率の向上を図っていく。

苦情解決結果について

千浜保育園

■受付日 平成25年6月14日

申出人 子育て支援センター利用者

内容 保育園で園児の父親対象の研修会があり、終了後、親子で降園する際、父親数人が園舎のフェンスの外でたばこを吸っていた。ちょうど、支援センター内でお弁当を食べていた数組の親子の所にたばこの煙が全部入ってきてしまい、大変不愉快な思いをしたとのことであった。

結果 施設内は禁煙としているが、施設外のことで協力を求められるか疑問である。しかし、年齢の小さい子を預かる施設として、今後、研修会や運動会などの行事の際、施設内外での喫煙を控えてもらうよう保護者をお願いしていく。

大坂保育園

■受付日 平成 25 年 11 月 12 日

申出人 保護者

内 容 保育園の参観会は年数回しかない為、子育ての参考になるよう育児研修会を参観日に取り入れ実施した。しかし、保護者から参観の度に講演会があり、日頃の園での様子を見る時間が短く、もう少し子どもの様子を見たかったという意見があった。

結 果 参観日以外にも、自由参観や一日保育士体験の日を設けて園内を公開している為、利用を啓蒙していきたい。また、仕事を休んでの参加には時間に限りがあることも理解し、今後の参観日の計画は親子でふれあいが持てるような内容を検討していく。

大東苑

■受付日 平成 25 年 4 月 30 日

申出人 デイサービス利用者ご家族

内 容 デイ利用時に薬をカバンに入れたが、薬がそのまま返ってきた。手帳に薬を入れた旨を記入したのに飲んでいないのではないか。

結 果 手帳に記入して下さっていたが見落とし、カバンの中に入っていた薬を確認できていなかったため、謝罪する。今後は、手帳に薬を入れるポケットを付け、そこに入れてもらうようにし、チェックを相談員と看護師で行い、漏れがないよう徹底する。

■受付日 ①平成 25 年 6 月 29 日、②平成 25 年 7 月 6 日

申出人 ショートステイ利用者ご本人及びご家族

内 容 ①ショートを利用した際に男性と相部屋だったので夜眠れなかった。それ以来、具合が悪くなってデイを休みがちになってしまった。もう泊まりに行きたくないと云っている。

②部屋に案内されたが、女性と同部屋だった。本来、女性と同部屋ということがおかしいのではないか。

結 果 配慮が足らなかった旨を謝罪する。原則、男女は別々の部屋であるが、本人の状況や空き状況等によっては、相部屋になることを説明してご利用頂くようにしていく。

■受付日 平成 25 年 9 月 13 日

申出人 ケアマネージャー利用者ご家族

内 容 ケアマネが話を聞いてくれない。自分の状態をわかってくれない。情報もくれない。一緒に考えてくれるケアマネがいるので交替してほしい。

結 果 連絡と意思疎通が足らなかった旨を謝罪する。ケアマネを交替するとともにご利用者、介護者の方のペースに合わせた情報提供や確認を行っていく。

くにやす苑

■受付日 平成 25 年 5 月 15 日

申出人 くにやす苑利用者家族

内 容 車椅子から食べかすがたくさん出てきた。食事の時にこぼすことがあるので、定期的に洗ってほしい。

結 果 各ユニットの車椅子の状態を職員全員で点検する。リーダー会議にて利用者が快適に過ごせるよう管理・清掃方法を確認するとともに、職員全員に対して取り扱いについて徹底を図る。